

平成12年度第2回愛知県周産期医療協議会

議 事 要 録

日 時：平成12年11月24日 午後3時から午後5時まで

場 所：名古屋第一赤十字病院 第6会議室

委員

出席者：有吉委員、安藤委員、石田委員、岡田委員、加納委員、小山委員、
戸苅委員、長嶋委員、長屋委員、判治委員、松澤委員、

欠席者：梶浦委員、風戸委員、奈倉委員、野口委員、森川委員、森田委員

事務局：愛知県健康福祉部児童家庭課長、愛知県健康福祉部児童家庭課主幹
名古屋市健康福祉局健康部健康増進課長
名古屋第一赤十字病院第三産婦人科部長、名古屋第一赤十字病院第二小児科部長

司会者：名古屋第一赤十字病院第三産婦人科部長

議 長：加納会長

1. 長嶋技監あいさつ
2. 加納会長あいさつ
3. 議事

(1) 平成12年度愛知県周産期医療情報システム機能拡充の進捗状況について

<セキュリティ強化>

- * ホームページをファイアウォール経由で公開するようにして、セキュリティを強化しました。
- * 常にセキュリティについては、維持管理を行い強化します。

<各周産期母子医療センターのホームページ内容の充実>

- * 総合周産期母子医療センターのホームページを30ページ追加しました。
- * 名古屋第二赤十字病院のホームページは、病院にホームページがあるので、病院のホームページにリンクするようにしました。
- * 他施設も各病院にホームページあれば、それに合うようにします。
- * ホームページは開設されていますので、内容については定期的に各施設で更新をお願いします。
- * わからないことがあれば業者に相談していただき、いっそう充実したホームページにしたいと思えます。
- * 共通項目として、協議会活動の議事要録、調査・研究事業報告もホームページに掲載しています。
(平成11年度分調査・研究報告は近々入力完了します)
- * 今後も協議会の議事要録、調査・研究事業報告等継続して入力して行きます。

<専門相談報告集計業務の追加>

- * 各地域周産期母子医療センターの専門相談件数を、事務局で手集計していましたが、集計業務をホームページ上で行うことができるようにしました。
- * 周産期母子医療センターのみが入力、検索、パソコンへの取り込み等行うことが出来る。(パスワード所有の病院・診療所では出来ない)
- * 相談件数データの輸入は、各周産期母子医療センターでお願いします。
- * 集計結果は、全体の施設で利用することが出来、研究事業にも利用が可能です。
- * データを利用するには、各施設が責任を持って全てのデータを入力する必要があります。
- * データ入力を徹底して実行する、方法を考える必要がある。
- * 毎日データ入力をするのは困難であるので、少しまとめて入力する事になる。
- * 皆が参加でき、データ入力を出来るような方法を考えて下さい。
- * 小委員会(産科・小児科)があるので、小委員会を開催して検討します。

(2) 平成12年度専門相談事業の報告と今後の予定

<実施報告>

- * 平成12年10月14日(土)小牧市民病院(尾張北部医療圏)にて、愛知県コロニー中央病院臨床第2部長 二村真秀先生による、専門相談と小セミナー「成熟児仮死の診断と治療」を開催しました。
- * 参加人数は、20名~25名ほどでしたが、診療所の先生から質問等もありました。
- * 平成12年10月14日(土)豊橋市民病院(東三河医療圏)にて、子供の虐待センター理事 坂井聖二先生による、専門相談と小セミナー「子供の虐待」を開催しました。
- * 参加人数は、120名で、保育士、保健婦等にも参加呼びかけました。
- * 坂井先生自身の経験や失敗例も含めた虐待の事例を出しながら対応の問題、医療関係者や子供に接している者達が何をしなければ成らないか、法律も交えての講演でした。
- * 平成12年11月11日(土)半田市立半田病院(知多医療圏)担当、半田市福祉文化会館雁宿ホールにて、名古屋大学付属病院周産期母子センター講師 三村俊二先生による、専門相談と小セミナー「ハイリスク新生児とその対応」を開催しました。
- * 参加人数は、約30名でした。

<今後の予定>

- * 平成12年12月16日(土)一宮市立市民病院(尾張西部医療圏)にて、国立岡山病院 山内芳忠先生による、専門相談と小セミナー「赤ちゃんのケア、支援における最近の流れ」を開催予定。
- * 更生病院(西三河南部医療圏)、トヨタ記念病院(西三河北部医療圏)、城北病院(名古屋医療圏)、名古屋第二赤十字病院(名古屋医療圏)、名古屋第一赤十字病院(名古屋医療圏)を予定しています。
- * 担当病院が、それぞれ内容を検討して開催します。
- * 専門相談事業は参加人数に関係なく、良い相談事業にして下さい。

(3) 平成12年度研修事業の報告

<研修会>

- * 平成12年9月2日(土)名古屋駅前毎日ビル 国際サロンにて、平成11年度調査・研究報告を開催しました。
- * 参加人数は70名でした。(消防関係者10名以上ありました)

<講演会>

- * 平成12年11月18日(土)豊橋商工会議所にて、「肺サーファクタントの機能的欠如と新生児疾患」について、埼玉医科大学総合医療センター小児科教授・埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター長 小川雄之亮先生による講演会を開催しました。
- * 参加者は、35名でした(地元の医師が中心でした)。
- * 広い分野での講演であり、埼玉県の周産期医療センターの施設案内もありました。

<次年度予定>

- * 研修会として平成12年度調査・研究の報告会を名古屋市内で開催、講演会を西三河か尾張北部医療圏での開催を予定しています。

(4) 協議事項

地域周産期母子医療センター施設の新規追加認定について

- * 平成13年度愛知県の二次医療圏の見直しが行われます、これにより、各医療圏に最低1地域周産期母子医療センターの設置が必要であることから、地域周産期母子医療センターの見直しを行い、3施設(海南病院・公立陶生病院・岡崎市民病院)を新規認定したい。
- * 認定時期は、平成13年7月を予定しています。
- * 3施設の追加認定により、愛知県下を全て網羅することが出来る。
- * 新規施設の参加には、データ入力・医療協議会出席等施設基準のみでなく協議会事業への参加を、事前に説明する必要がある。(愛知県が各施設に説明します)。

- * 新施設認定追加については、協議会活動に協力してもらえるのであるならば、当協議会は追加認定を承認します。
- * 愛知県コロニー中央病院はなぜ地域周産期母子医療センターに参加できないのか。
- * 国の周産期医療システム整備指針には、「産科及び小児科を備え、周産期に係る比較的高度な医療を行う」とあるが、愛知県コロニー中央病院には産科が開設されていないので、整備指針に該当しない。
- * 愛知県コロニー中央病院の小児に関するデータ等は、大変貴重なデータが多いので、ぜひ地域周産期母子医療センターとして参加してもらいたい。
- * 愛知県コロニー中央病院では、実際には母体搬送を受入れ、お産の実績もあり、1988年からは、外科疾患を対象に年間3～4例のお産を行っている。
- * 周産期母子医療センターとしての考えは、P I C U , 妊産婦を主に産科中心に考えているので、産科が必要であるとするが、将来的には愛知県コロニー中央病院の参加も考えたい。
- * 臨床サイドからは愛知県コロニー中央病院の存在は大きく愛知県コロニー中央病院を除いた県下のデータは信憑性に欠ける部分もあるので、特例を設けて愛知県コロニー中央病院の参加を考えて欲しい。
- * 愛知県としても検討します。
産科の自宅、路上等よりの救急医療の受け入れについて
- * 路上での救急搬送を周産期母子医療センターは必ず受入れる必要は無いのではないか。
- * 周産期母子医療センターとして、全ての救急搬送を受入れる必要はないのではないか。
- * 名古屋市は常時産婦人科の救急医療体制は土日関係なく救急指定病院があるので、県の医師会内の救急救命センターに連絡して、周産期母子医療センターでなくて良いのではないか。
- * 愛知県周産期医療協議会の、ホームページの応需情報のみを救急隊に公開してはどうか。
- * 県の医師会館に産科救急指定病院の情報があるので、これを利用してほしい(救急隊からの連絡により、医師会から当番病院に連絡し、救急搬送する)。
- * 今後、産科の救急体制もあるので、周産期母子医療センターとしては、救急搬送の取扱を親切に対応する事にしましょう。

(5) 報告事項

平成11年度愛知県の人口動態統計(確定数)の概況と母子保健の水準について

- * 資料5 - 1、資料5 - 2 参照
愛知県の母子保健重点目標について
- * 資料5 - 3 参照
「健やか親子21」について
- * 資料5 - 4 参照

(6) その他

<次回医療協議会開催について>

- * 平成12年度第3回愛知県周産期医療協議会を、平成13年3月23日(金)に開催予定します。